

大阪・関西万博に向けた取組

大阪・関西万博の概要

- テーマ：いのち輝く未来社会のデザイン
- 期 間：令和7年 4月13日～10月13日
- 場 所：大阪府大阪市 夢洲（ゆめしま）
- 想定来場者数：約2,820万人

1 関西パビリオンへ「三重県ブース」を出展（展示設計）

関西パビリオン概要

- 出展参加府県：滋賀県、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県、福井県、三重県
- 出展参加のテーマ：いのち輝く関西悠久の歴史と現在

三重県ブーステーマ

日本のこころの原点 ～美し国みえへとつづく時を超えた物語～

三重県では、古くから、多様な人々が暮らし、美しい自然や歴史・文化を大切にしながら、知恵と工夫で常に新しいものを生み出し、発展してきました。この「こころの原点」とも言える物語を、三重県の豊かな自然や食など「美し国みえ」の魅力とともに、エンタテインメント型の空間演出で来場者の皆様に体感・体験していただきます。

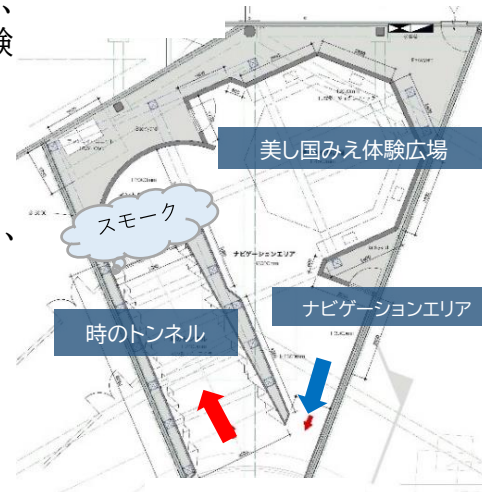
ブースゾーニング 全体面積 160㎡

三重県が世界に誇る魅力に「出会う」、多様な魅力を「知る」、三重へ「旅立つ」の3つのゾーンで構成。

- ① 出会う ～時のトンネル～
- ② 知る ～美し国みえ体験広場～
- ③ 旅立つ ～ナビゲーションエリア～



関西パビリオン外観イメージ（提供：関西広域連合）



2 万博会場内で催事を実施

万博会場内のイベントスペース(2か所)において、三重県の魅力を発信する催事を実施します。

- ①屋外イベント広場 … 令和7年9月上中旬（1日）に市町等と連携して、「祭り」や「食」をテーマとした催事を実施
- ②関西パビリオン多目的エリア … 令和7年7月、9月に各7日間(仮)、県庁各部局や市町等と連携した催事を実施



屋外イベント広場



関西パビリオン多目的エリア



①出会う ～時のトンネル～

万博会場にいなから「伊勢神宮」や「熊野古道伊勢路」から広がる三重県の千年を超える歴史物語を体感できる幻想的なトンネルを展開します。県内29市町の海や山といった美しい自然や観光地などの映像で来場者をブースに誘引します。



③旅立つ ～ナビゲーションエリア～

コンシェルジュを配置し、来場者一人ひとりの興味関心に応じた情報を提供するほか、来場者が興味のある観光情報をデジタルマップから閲覧し、二次元コードなどで取得できるようにします。

②知る ～美し国みえ体験広場～

県内5エリアごとに映像を投影するほか、五感を使って各エリアの魅力を体験する展示を行います。また、特集テーマを設け、テーマに合わせた映像の投影や期間限定の特別展示を行うほか、市町も参加し、各地域の魅力を発信します。

特集テーマ

熊野古道	常若
自然	歴史・文化
産業	食



3 校外学習等を支援

次代を担う子どもたちが万博会場でSDGsや世界の文化等を学ぶ校外学習等を支援します。子どもたちには、三重県ブースで、改めて、三重県の自然や歴史文化、各地域の魅力に触れてもらいます。

- 対象：県内小中高（約18万人）
- 支援内容：チケット代（小中 1,000円、高 2,400円）

